

2025規則改正

岐阜市軟式野球連盟 審判部

<規則書>

(1)2.01

→グラスライン(芝との切れ目)、我が国においては適用しない。(そもそも球場が少ない)

(2)3.01

→H号(準硬式球)、全軟では適用しない。

(3)3.08(b)

→所属する団体の規定に従う

→ヘルメットの着用(一般:片耳OK、学童・少年:両耳)

(4)5.04(b)

→マイナーリーグ →全軟では適用しない

(5)5.09(a)

→スリーフットレーンの走り方 →変更なし

(6)5.10(g)

→先発投手は3人に投げる →我が国では適用しない。

★必携 P.67 投球の義務5.10(i)『準備投球のために投手板に位置してしまえば』その投手は第1打者がアウトになるかあるいは一塁に達するまで、投球する義務がある。

(7)5.10(m)

→マウンドに行ける回数 →変更なし

★必携 P.54 守備側のタイムの回数制限:1試合で3回以内。

(8)6.02

→マイナーリーグ →全軟では適用しない

(9)7.01

→コールドゲームの宣告は球審 →全軟では適用しない

(10)7.01(c)

→フィールド、球場のコンディション不良等 →我が国では所属する団体の規定に従う →変更なし

(11)7.01(c)(d)

→正式試合等 →我が国では所属する団体の規定に従う →変更なし

(12)7.01(e)(f)

→正式試合について →変更なし

(13)7.01(4)

→試合終了時の両チームの総得点で勝敗を決する →変更なし

(14)7.02

→ポストポンドゲーム(試合前に中止が決定)が追加

(15)7.02(c)(f)

→続行試合を継続試合に改める

(16)9.01

→メジャーリーグ事務局 →全軟は適用しない。

(17)9.22

→プロ野球(NPB)のルール →全軟は適用しない。

(18)定義14

→コールドゲームは試合完了前に打ち切ったもの →変更なし

(19)定義63

→ポストポンドゲーム(試合前に中止が決定) →追加